

立山 '86.5.31~6.2.

真砂沢上部, 丈走沢, 山崎カール, 立山川, (タンボ平)

メンバー: 陶山泰, 井村修康, 島田隆一, 高野真砂子, 高橋智子(記)
菅沼博(5/31~6/1, タンボ平へ下山) 6名

5月31日

夕し振りの小屋泊りで荷物が軽いのでうまい。
立山黒部アルペンルートを利用して室堂まで行く。
大町からバス、トリートバス、4-フルカーと
嫌になる位乗り換えして室堂へ着く。
この時期でも結構混んでいたので夏にはそれ以上と
人出になるだろう。

小屋で着換えをして、さっさと滑ることにする。
室堂周辺というところで近しい山に登るのだから
結構暑い。

上の方の急斜面の方が滑るのかわりに下へ下る。
おれはこらえてみんながそれ以上下りて滑る。

下の方で休憩すると風が出てきて寒いので
ツェルトをかぶってお茶を沸かす。

遠くに雪山が見え、アルペン的な景色のせいで
北アルプスにきたという感じができる。

6月1日

今日の山崎カールを滑る。

宿を出て、サックにカラビナをつけて、スキー板を引張って
登る。シールとアイゼン。今日もいろいろあった。
雄山の途中まで行く(おれはみんなと少しだけからといて
頂上まで行って帰る)。

スキーをテボにして雄山神社へ参り

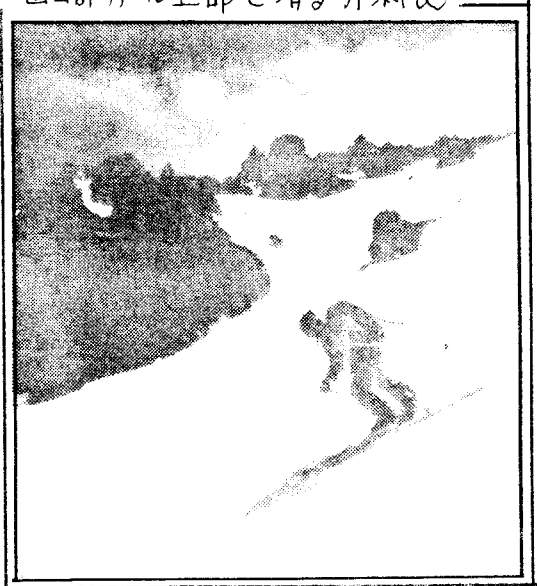
朝のうららかな朝、今日晴れて視界も
よくあった。

何となく締まった雪でケレンテ同様の滑りをすれば、
 右ん左かスキーカーがうろちたような感じで気持ちがいい。
 下の方向に行くにシズールがきつみに見える。
 ここで今日中に帰るという管沼さんと別れて
 馬場島荘をぬき上り立山川の岸を滑る。
 剣ヶ崎川に見えろ。剣ヶ御前の小屋が見えた。

立山川で滑り降りた後、その上の方で下
 下に行くに土混りの雪で板を滑りて歩いている。
 かなり下の方向に行くに雪溪が切れていて、土の方向
 絶壁。対岸に渡らなくては行かない。結構高さ
 があるから、ザイルを使い降りることにする。
 まず、スキーや石物を先に降ろしてから、4人連が降り
 の下で、ザイルの結ぶ方をすくからす。難儀する
 懸垂下降の降りるの下で足場がいいのでいい。
 結局ここで1時間半も時間がかかっていたので、
 なんかから何とか馬場島荘へ着いた。

ザイルとカラビナとウエストベルトは必携することを
 痛感したスキー山行だった。

山崎カール上部を滑る 井村氏



快適に山崎カールを滑る高橋さん

86年